

常陸大宮市大規模盛土造成地マップ

このマップは、谷や沢、傾斜地を大規模に埋め立てた造成地（大規模盛土造成地）のおおむねの位置を示したものです。大規模盛土造成地が身近に存在するかどうかを知っていただくことにより、住民の皆様の防災意識を高めていただくために作成しました。

はじめに

近年の大地震では、大規模盛土造成地で滑動崩落が発生し、宅地や公共施設等に大きな被害が生じました。今後も大地震の発生が懸念されることから宅地等の安全性を確保するため、国において「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン」が示されました。

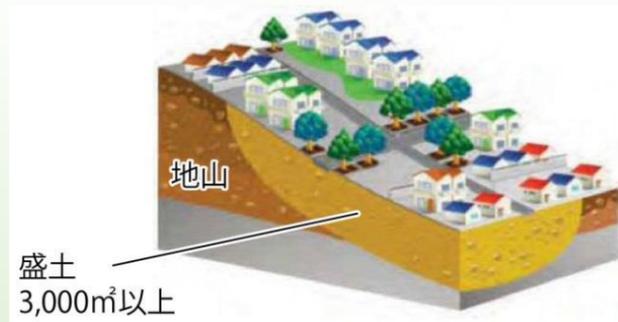
この『大規模盛土造成地マップ』は、常陸大宮市が平成27年1月に実施した調査の結果から作成し、同ガイドラインに基づき公表するものですが、その後平成28年度に実施した住宅地を対象とする現地調査の結果、滑動崩落に至るおそれのある不安定な住宅地盛土は市内に存在しないことが確認されています。

大規模盛土造成地とは？

2種類の『大規模盛土造成地』があります。

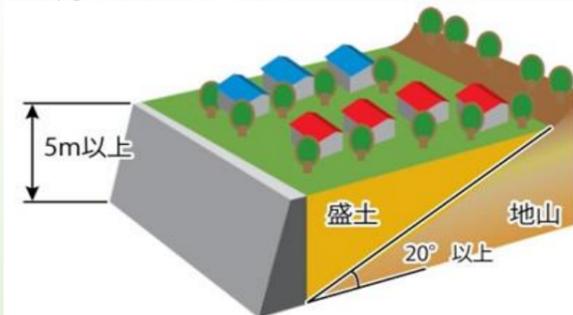
① 谷埋め型大規模盛土造成地

谷を埋め立てた造成地で、盛土の面積が3,000㎡以上のもの



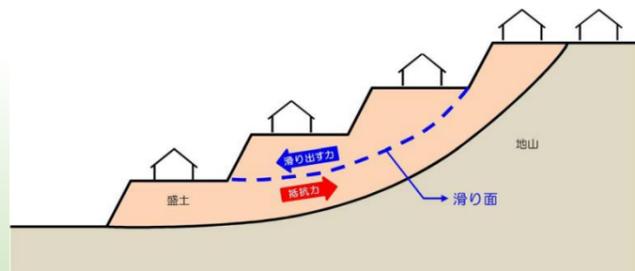
② 腹付け型大規模盛土造成地

傾斜地に盛土した造成地で、地山（造成前の原地盤）の勾配が20度以上、かつ、盛土の高さが5m以上のもの



滑動崩落とは？

造成地において、地震時に盛土が動いたり、崩れたりする現象のことです。



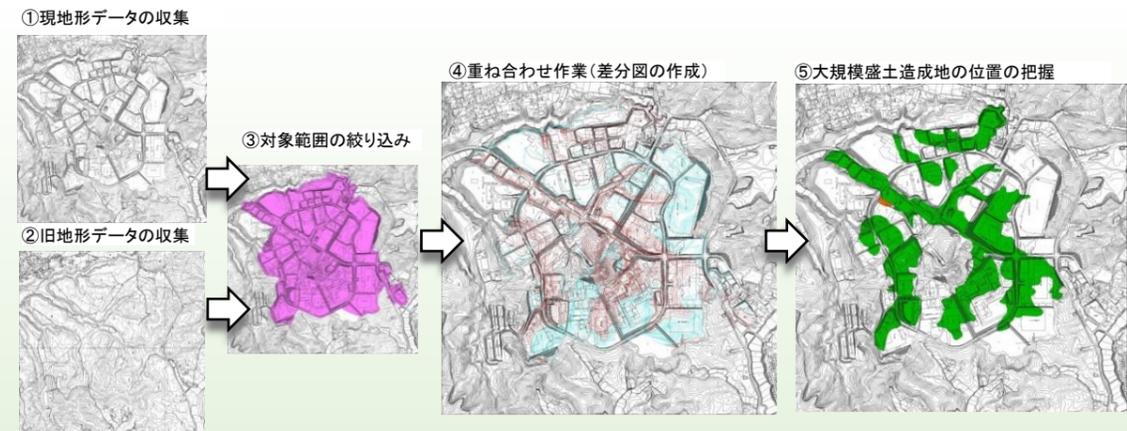
(画像は国土交通省より)

滑動崩落が発生すると、大切な財産だけでなく、命さえも失われることがあります。平成7年の阪神・淡路大震災や平成23年の東日本大震災等でも、大きな被害が生じました。

このマップについて

この『大規模盛土造成地マップ』は、平成27年度1月時点に実施した調査の結果、一団の宅地(工場も含む)の中で大規模盛土造成地と判定された箇所のおおむねの位置を示したものです。

宅地造成前後の新旧の地形図等をコンピュータ上で重ね合わせ、造成後の地盤の高さが造成前より高くなっているところで一定規模以上のものを大規模盛土造成地と判定しています。



大規模盛土造成地に関するQ&A

Q1 マップに示されている箇所は危険ということですか？

地震が起きた場合、マップに示されている箇所が必ずしも危険というわけではありません。地下水の処理と盛土の締め固めが適切に行われている場合は安全と考えられます。なお、近年の豪雨に見られるように宅地被害をもたらす災害は地震だけではなく、日頃から宅地や擁壁などに変状が生じていないか点検するよう心掛けましょう。

Q2 もっと詳細なマップは公表しないのですか？

マップを作成するために使用した造成前の地形図等は必ずしも精度が高くないため、誤差が含まれることを考慮して、縮尺80,000（市全域）、縮尺40,000（大宮地域ほか4地域）としています。

Q3 大規模盛土造成地の中にある土地は、何か特別な手続きが必要ですか？

大規模盛土造成地内の土地ということでは何か特別な手続きが必要になることはありません。また、宅地開発や建築を行う場合でも特別な手続きが加わるということはありません。

宅地の耐震化に関するホームページ

▼宅地防災／国土交通省

<http://www.mlit.go.jp/toshi/web/index.html>

▼我が家の擁壁チェックシート／国土交通省

<http://www.mlit.go.jp/crd/web/jogen/pdf/check.pdf>

【問合せ先】常陸大宮市経済建設部都市建設課都市整備G

〒319-2292 常陸大宮市中富町3135番地の6

電話：0295-52-1111（代） FAX：0295-53-5415

ホームページ：<http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>